

おしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な 内容

| | |
|-------------------|----|
| 令和2年度予算 | 2 |
| 予算質疑 | 4 |
| 一般質問 | 6 |
| 審議結果 | 9 |
| 表彰・視察来町報告等 | 10 |
| 視察研修報告 | 11 |
| 環境衛生・病院・広域圏議会ニュース | 11 |
| 町章等再確認しましょう | 12 |
| シリーズ「町の施設」 | 12 |

下仁田町議会
QRコード



◆あじさい園

開園：6月6日(土)～7月5日(日) 9時～17時

令和2年度予算

一般会計は51億7,600万円

前年度比1億200万円の減額 (▲1.9%)

■主要事業

() 内は町一般財源以外の財源 (単位：万円)

| 事業名等 | 新規事業 | 予算額 |
|---|------|--------|
| 子供のインフルエンザワクチン接種 18歳以下対象・自己負担額1,200円 | ◎ | 100 |
| 成人男性に対する風しん追加対策 (国141万円) | | 395 |
| 下仁田南牧医療事務組合負担金 (過疎債5,410万円・基金1,680万円) | | 34,780 |
| 甘楽西部環境衛生施設組合負担金 | | 15,442 |
| 広域医療対策 | | 2,718 |
| 広域市町村圏振興整備組合負担金 | | 649 |
| 有害鳥獣駆除対策 (県1,001万円) | | 1,671 |
| 地域おこし協力隊事業 農林部門2名、福祉部門1名、教育部門1名 | | 1,166 |
| 特用林産物生産活カアップ事業補助金 (県499万円) | | 599 |
| ぐんま緑の県民基金事業 (県182万円・ふるさと下仁田応援基金350万円) | | 555 |
| 森林経営管理事業 【新規：森林整備促進伐採搬出補助事業 950万円】 (森林環境譲与税3,006万円・森林環境譲与税基金1,340万円) | ◎ | 4,347 |
| 起業支援事業補助金 | | 200 |
| 風穴バス運転委託 (寄附金18万円) | | 153 |
| 防災(水害・土砂)マップ作成(国121万円) | | 242 |
| ALT招致 2名分 | | 856 |
| 中学生海外派遣費 生徒18名・引率3名分(負担金360万円・基金210万円) | | 899 |
| ジオパーク運営 | | 994 |
| 学校給食センター調理等業務委託 | ◎ | 2,927 |
| 学校・家庭・地域連携協力推進事業 (県149万円) | | 221 |
| 小規模農村整備事業(竹ノ上地内)(県1,336万円・過疎債2,080万円) | | 3,424 |
| 県単林道改良事業 5路線(県1,400万円・過疎債1,400万円) | | 2,800 |
| ほたる山公園遊具整備工事(過疎債730万円) | | 737 |
| あじさい園遊歩道舗装工事(過疎債1,870万円) | | 1,873 |
| 過疎道路整備 4路線(過疎債8,010万円) | | 8,010 |
| 町道橋修復工事及び橋梁詳細設計業務委託4橋 (国3,296万円・過疎債2,590万円) | | 5,904 |
| 橋梁点検委託 63橋(国1,831万円) | | 3,000 |

| | | |
|---|---|--------|
| 交通安全施設設置 | | 165 |
| 河川改修工事（田ノ入沢川）（緊急自然災害防止対策事業債 2,200 万円） | | 2,200 |
| 伊勢山下住宅建設工事（国 1,990 万円・公営住宅建設事業債 2,100 万円） | ◎ | 4,091 |
| 防火水槽設置工事（西野牧・新屋公会堂北）（緊急防災減災事業債 880 万円） （旧小坂小プール跡地）（緊急防災減災事業債 1,810 万円） | | 2,695 |
| 旧西中跡地防災広場建設工事（過疎債 9,800 万円） | ◎ | 9,801 |
| 下河原ヘリポート建設工事（緊急防災減災事業債 690 万円） | ◎ | 698 |
| 荒船風穴番舎遺構ゾーン整備工事他（国 931 万円・県 565 万円・過疎債 770 万円） | | 2,268 |
| 馬山社会体育館トイレ改修工事費（緊急防災減災事業 160 万円） | | 165 |
| 公共土木施設災害復旧事業（台風 19 号関係） 5カ所 （国 12,199 万円・寄附金 400 万円・災害復旧事業債 6,650 万円） | | 19,594 |
| 林業施設災害復旧事業（台風 19 号関係） 2カ所 （県 2,340 万円・寄附金 190 万円・災害復旧事業債 1,450 万円） | | 4,300 |

●定住促進事業

（単位:万円）

| | | |
|---|--|-------|
| ねぎとこんにやく下仁田奨学金事業 奨学金補助 515 万円（基金 515 万円） 積立金 2,001 万円（ふるさと寄附金 1,500 万円） | | 2,516 |
| 定住促進奨励金 1戸 25 万円（基金 320 万円） | | 375 |
| 空き家等利活用事業補助（基金 320 万円） | | 330 |
| 移住支援金補助金（国県 150 万円） | | 200 |

●少子高齢化対策事業

（単位:万円）

| | | |
|--|--|-----|
| 集落高齢者等タクシー利用券交付 | | 240 |
| 出産祝金 1子 5 万・2子 10 万・3子 20 万（基金 215 万円） | | 215 |
| 入学祝金 祝金 3 万円+商品券 2 万円 小学校入学 16 人 中学校入学 23 人 （基金 195 万円） | | 195 |
| 不妊不育治療費助成（基金 100 万円） | | 100 |
| 結婚祝い金 1組 5 万円 | | 35 |
| 結婚新生活支援事業交付金（県 15 万円） | | 30 |

（万円未満切り捨て）

3月定例会の概要

▼開会日（6日）

会期を18日までとする決定を行い、また、2人の議員が、町政の様々な課題について一般質問を行った。

▼議案の上程・採決（10日）

選挙管理委員及び補充員選挙、条例の一部改正等全12議案を上程・採決し、令和元年度一般会計補正予算（第5号）等全12議案を予算決算特別委員会に付託。陳情3件を総務、社会経済常任委員会に付託。

▼予算決算特別委員会（11日・12日）

付託された案件の審査。

▼社会経済常任委員会（11日）

付託された陳情の審査。

▼総務常任委員会（12日）

付託された陳情の審査。

▼最終日・採決（18日）

令和元年度一般会計補正予算（第5号）等追加議案を含め全18議案を可決。陳情3件の内2件が継続審査、1件が趣旨採択。

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和元年度一般会計
補正予算(第5号)

【歳出】

問 避難所用蓄電池購入について説明を。

答 ポータブル蓄電池を2台配備予定。家庭用電源又は太陽光パネルにて充電し、11時間使用可。携帯電話充電も複数台可能。配備先は災害時に道路の寸断が懸念される矢川、青倉地区の避難所を予定。

問 中学生海外派遣が当初20人から13人への減員理由は。

答 前年11月頃に事前アンケートを実施。その後、4月の募集時に、家庭事情等で応募しない生徒もいるため。

問 文化ホールステージ裏連絡通路増設工事の減額理由は。

答 利用者の高齢化を勘案し、階段を有する形態の連絡通路は、怪我や事故の誘発に繋がると考え、取りやめ、ステージ奥裏側の備品を整理、連絡通

路としての機能を回復したため。

問 文化ホールの中長期的な改修の考え方は。

答 昭和62年竣工で築30年経過、必要最小限の修繕にとどめてゆきたいが、町の方針を見極め、今後の課題としたい。

◆令和2年度一般会計
予算

【歳出】

問

上信電鉄鉄道補助について説明を。

答 固定資産税補助、輸送対策事業費補助、鉄道基盤整備維持費補助の3種類合計1771万7千円。

問 沿線市町村の補助負担率は。

答 高崎市46・15%、甘楽町10・14%、富岡市30・57%、下仁田町9・83%、南牧村3・31%。

問 地域経済循環創造事業の説明を。

答 こんにやく精粉業者への補助。

問 町負担分は、起債か一般財源か。

答 一般財源。

問 雇用人数は。

答 5人雇用予定。

問 暮らしの相談窓口業務委託の内容は。

答 下仁田町観光協会に委託、道の駅しもにた内に移住コーディネート者を配置。

問 問い合わせ件数は。

答 年間100件程度。

問 手続きの一元化はできないか

答 空き家バンク物件登録、情報のホームページ掲載、空き家の活用補助金に関する事務は町が、物件の問い合わせ、紹介、見学等の事務は暮らしの相談窓口で休日も含め実施。

問 防災マップ作成委託料の説明を。

答 千年に1度の大雨での河川氾濫による浸水を想定したマップを作成予定。費用の2分の1は国補助金を活用。

問 ドローン防災協定使用料の説明を。

答 防災協定を結び、災害時の被害状況をドローン等で確認するための費用。協定先に委託料を支払う。協定先は検討中。

問 多目的集会所施設設計委託料とは。

答 馬山生活改善センターの建替想定の基本設計料。

問 どこに建てるのか。

答 旧馬山小跡地への建設構想がある。地元から建替え要望を受けていることから、議員の皆様から意見を伺うため、基本計画を作成したい。

問 経過報告はあったか。

答 平成27年10月14日に馬山生活改善センター運営委員会から「馬山生活改善センター建替えに関する要望書」が町長、議長宛に提出され、平成27年10月の全協で報告、11月19日開催の社会経済常任委員会にて採択。有利な補助事業を探した結果、過疎債対象事業の「教育文化施設」の「公民館その他の集会所施設」に唯一該当するため、今回教育費に計上。

問 いきなり計上されている。総務委員会に報告が

ない。議会軽視。再度協議したいので、取り下げる。

問 緊急避難委託所賠償保険とは。

答 児童生徒が登下校時等に危険を察知し民家へ避難した際、物等を破損してしまった場合の賠償保険。実績はない。

問 世界遺産登録記念銘板はどこに作るのか。

答 荒船風穴の史跡外。

問 緊急通報体制整備事業について説明を。

答 委託先は、立山システムという会社で、利用者はひとり暮らしで虚弱な高齢者等の条件があり、家庭で常時動きのある玄関やトイレ、冷蔵庫等に設置し、緊急時には本人が通報し病院への救急搬送に資するもので、動きがない場合は、協力員の方に駆けつけていただき、孤独死防止対策のための事業。

問 利用料金や個人負担金は。

答 月単価2,808円、個人負担金月300円。利用者は60人程。

問 集落高齢者等タクシー利用券交付の説明を。

答 現在は、駅から2km、バス停から1km以上の公



平成28年度に全戸配布した防災マップ



テレワークオフィス（文化ホール前）

公共交通の利用不便地域の
方に30枚、40枚、50枚交
付。令和2年度から交付
枚数を5枚ずつ増やす予
定。

問 吉崎地区などの支援も
考えていただきたい。

答 個々に様々な課題が
あるので、今後関係課や
地域包括ケア推進会議等
において検討していきた
い。

問 テレワークオフィスの
説明を。

答 利用状況は、月契約が
最高で3名。スポット利
用が数件。

問 今のうちに将来的に使
用料が稼げる方策の対応
をしないと大変なこと
になる。商工観光課が背負
い込む形になって負担増
にならないように、議会

からも対応、対処、指導
の要求があったことを伝
えること。

答 新型コロナウイルス
の流行で、各企業のテレ
ワーク推進状況もあるこ
とから、指定管理者に利
用者増の努力をするよう
伝えている。また、来年
度に向けて4月早々に打
ち合わせをする予定。

問 有害鳥獣対策の説明
を。

答 野猿追い払い隊の継
続。猟友会への委託が主。
問 サル追い成果は出てい
るか。

答 サル捕獲檻を設置、捕
獲し大学に送っている。
頭数は減少気味。隊員
がいなくなると出てくる
が、追わないと被害が出
る。継続していきたい。

問 鳥獣駆除実績は。

答 イノシシ成獣180
頭、幼獣24頭、シカ成獣
573頭、幼獣10頭、ハ
クビシン成獣114匹、
幼獣6匹、猿成獣1頭、
幼獣6頭。

問 罾による捕獲が多いの
か。

答 イノシシは罾174
頭、檻26頭、銃4頭、シ
カは罾563頭、檻5頭、
銃15頭、ハクビシンはす
べて檻120匹、サルは

すべて檻7頭。
問 狩猟免許取得補助金の
20万円は銃か罾か。

答 銃の免許補助及び鉄砲
とガンロッカー購入の補
助が1名分。

問 猟友会人数とワナ免許
取得者人数は。

答 猟友会51人で、ワナ免
許も51人。

問 檻設置個数は。

答 猟友会委託だが、檻の
数は30基ほど、設置数は
半分くらい。

問 シカ、イノシシの捕獲
補助金は8千円だが、増
額の検討は。

答 猟友会としては現状
の金額でいいと伺ってい
る。

問 森林整備促進事業につ
いて説明を。

答 森林所有者の人工林
伐採及び搬出に対する補
助。m当たり千円予定。
令和2年度からの新規事
業。

問 建築用材利用対象の理
由は。

答 森林組合に確認し、搬
出木材の大部分が建築用
材利用とのことだったた
め、限定した。

問 製材後の材積に対して
の補助か。その後の確認
はするのか。

答 丸太への補助。その

後の確認をする予定はな
い。

問 先着順か。予算が足り
なくなつた場合は。

答 今回は9,500㎡で
予算計上。台風災害の影
響で作業道も被害が出て
おり搬出量が減る見込み
と聞いている。



ほたる山公園からの眺望

問 ほたる山公園遊具整備
工事内容は。

答 滑り台の撤去と新設。
滑り台の老朽化でロー
ラーが欠落する状態が数
年前からあり、早急な対
応が必要のため。滑り台
はメインの遊具で、利用
頻度も高いため、利用者
の安全確保と今後の維持
管理を考慮し、木製の
ローラー滑り台は廃止
し、新たにステンレス製
の滑り台とした。

問 数年前にも改修した。
利用が少ないような
で、高い設備投資にな
るのではないかと危惧す
る。何もないほうが子供
たちも喜ぶのでは。富岡
市のみじ平公園では、
土の斜面に段ボールを敷
いて滑っているのを見か
ける。慎重な対応を願
いたい。

答 バーベキューやキャン
プで訪れた子供たちはよ
く滑り台を利用して
と聞く。老朽化で遊具が
廃止されていく中、滑り
台はニーズを考慮し、木
製を撤去しステンレス製
を設置したい。

問 下仁田町商工会への
480万円補助の根拠
は。

答 主たる活動費400万
円、地域振興事業50万
円、伴走型小規模事業者
支援事業30万円。伴走型
は、商工会から40万円の
要望があったが、検討し、
30万円とした。

問 補助金に対する申請内
訳は、毎回商工会から提
出されるものか。

答 申請書は、商工会で作
成して提出される。

問 下仁田町観光協会補助
金1千万円の根拠は。

答 観光協会からの1,



観光協会事務所（道の駅しもにた内）

問 観光協会に対して1,000万円もの補助は不要ではないか。

答 予算には群馬DCに向けた観光推進や、ホームページの多言語化やセキュリティ対策費

360万円予算要求を商工観光課で査定。会費60万円、こんにやく手作り体験事業収入168万円、妙義公園管理事業等で歳入合計320万円。人件費293万円、事業費209万円、委託費361万円、負担金36万円、歳出合計1,320万円。差額1,000万円を予算計上した。

【歳出】

令和元年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）

問 当初計画では合併浄化槽設置基数50基を見込んだが、実績見込みが20基のための減額補正。

答 予算減額の説明を。

問 合併浄化槽の普及促進について町長の考えは。

答 高齢者世帯が多く普及が進まないのが現状。当町は水源地で下流域にきれいな水を流す義務がある。補助金等の支援を県にお願いし、普及促進に向けて努めていきたい。

用を含めた予算であり、1千万円で予算計上させていた。ごみ減量化促進事業の消耗品費の内容は。町指定ごみ袋購入費。不燃ごみ用の小袋が無いのはなぜか。町指定ごみ袋の利用が始まった当初は扱っていたが、需要がないので、取り扱いをやめた。

一般質問

町政を問う

■質問事項一覧 >>> (傍聴者数2人)

木暮 弘元 議員 40分 (7 ページ) < 質問の相手 >

水道事業について

町 長

- ①台風19号被害について
- ②水道料金等について

大手 博幸 議員 30分 (8 ページ) < 質問の相手 >

災害時避難所について

町 長

- ①台風19号における避難呼びかけ等は適切でしたか
- ②各地区(場所)の避難人数は
- ③物資・人員等の過不足はどうでしたか
- ④各施設の収容可能人数は適切でしたか
- ⑤旧西中跡に施工予定の建物は、どの様な規模を予定していますか
- ⑥避難所設置目安「スフィア基準」は意識していますか

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

会議録の詳細は、概ね5月上旬から下仁田町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。下仁田町議会ホームページは、インターネット検索サイトで「下仁田町議会」と検索して下さい。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

問 台風19号に伴う断水の原因は。

答 取水ポンプが故障したため。

議員 宮畑浄水場の断水原因は。

建設水道課長 宮畑浄水場は取水が3カ所あり、高倉川と栗山川取水は台風接近前日の10月11日にバルブを締めましたが、取水を止めなかった青岩取水塔は、想定外雨量により多量の土砂等が入り、取水ポンプが故障、濁水のため、ろ過装置長時間使用のため、ろ過能力低下併発で、取水池の水位が著しく低下したためです。

議員 なぜ取水を止められなかったのか。

建設水道課長 青岩取水塔も締めると、一切取水が止まり断水になるからです。



木暮 弘元 議員

議員 そのとき締めていれば泥の流入は防げたのでしょうか。

建設水道課長 青岩取水塔は過去の台風でも取水停止はなく、稼働していたので、取水制限しませんでした。

議員 総括責任者は誰か。

建設水道課長 災害対策本部、水道事業の最高責任者は町長ですが、大規模災害など緊急時は、現場判断を優先、担当課長が適宜判断し、事後報告承認のケースもあります。



台風通過翌日の宮畑浄水場青岩取水塔

議員 他に取水が詰まった箇所は。

建設水道課長 宮畑、樽下浄水場を含め、西部浄水場等全12浄水場で詰まりました。三本杉は、導水管破断、他課水道係経験職員を集め、作業に当たりました。

議員 危機管理体制ができていれば防げたのでは。

建設水道課長 今回は総雨量600ミリを超え、体験したことのない規模でした。

議員 災害防災計画や防災訓練の有無は。

建設水道課長 地域防災計画に基づき運用、防災訓練は適宜開催、毎年台風シーズン突入時期に行動指針を再確認しています。

議員 住民に不安を抱かせないよう周知されたい。

建設水道課長 地域と一丸となり、災害に強いインフラ整備に努めます。

議員 今後の対応は。

建設水道課長 発電機や復旧用部材補充を徹底します。

議員 防災マップ、避難所の見直しはするの。

総務課長 現在の防災マップは、平成28年度に作成、

各戸配布済ですが、千年に一度の確率で発生する大雨における浸水想定区域を明示したマップを令和2年度に作成、配布予定です。



吉崎地内台風災害現場 (10月13日撮影)

問 水道料金の改正は。

答 適正な料金水準設定の検討も必要。

190円です。

議員 私の調査では県内1、2番目の高料金とのこと。その原因は何か。

建設水道課長 平成27年4月に各簡易水道を上水道に統合し、浄水場が17カ所に増加、施設管理費や漏水修理、布設替工事が増加しているためです。

議員 水道料金改定予定は。

建設水道課長 現時点では未定ですが、水道事業運営内容の検討が必要です。

議員 町長のお考えは。

町長 将来にわたる健全な水道事業運営には経営効率化が必要不可欠で、適正な料金水準設定の検討も必要です。住民の皆様のご意見を拝聴しご理解を求め、安定給水に努めていきます。

議員 しっかり検証し、防災訓練実施や防災マップ見直しは早急が必要。町民が戸惑わないように日頃から対応ができるようお願いしたい。また、水道料金の値上げは、住民の生活に直結することであり、企業進出をはばむことになることから、行わないでいただきたい。

議員 水道料金引き上げの経過については。

建設水道課長 直近の平成11年度料金改定は約20%増。26年4月と令和元年10月には消費税分の値上げを行いました。

議員 県内での水準は。

建設水道課長 元年度現在、1カ月家庭用10立方当たり下仁田町は1,617円、県平均は1,

問 災害時の周知方法は。

答 インフォメール等活用を。



大手 博幸 議員

議員 台風19号時の周知方法や防災無線設置状況は。

議員 台風19号時の周知方法や防災無線設置状況は。総務課長 午前7時5分に台風接近注意喚起を、午前8時に自主避難所開設を、その後は避難所開設並びに避難勧告等逐次放送をしました。屋外支局が52局あり、難聴地域には個別受信機を600台設置していますが、屋外支局は雨や窓閉め切り状態では聞き取りにくいため、8214433に電話をすると、放送内容が聞けるサービスや、しもにたインフォメールで情報提供し、利用の周知も図ります。

議員 災害時における呼びかけ体制は。

総務課長 班長や組長には防災委員として、避難勧告発令時の安否確認や避難呼びかけや安否情報を区長に、区長は災害対策本部へ報告。なお、避難指示が出された場合は、防災無線等とともに、職員や消防団員等が各戸訪問し呼びかけますので、地区役員の方は無理せず、自らの命を守ることを第一とするようお願いしています。

議員 避難人数は。今回の台風では、地区からの情報をもとに職員や消防団員等が訪問、避難所への誘導事案もありました。

議員 避難人数は。総務課長 10月12日から13日に町内8カ所の避難所を開設、避難人数は8カ所合計660名。避難所毎は、保健センター1252名、下小体育館69名、下高体育館52名、馬山社会体育館48名、西牧活性化センター160名、矢川友愛館22名、青倉社会体育館75名、荒船の湯82

名でした。議員 旧小坂小体育館の避難人数は。総務課長 開設後、裏山からの出水が激しくなり、午後3時8分に避難所を閉鎖し、保健センターまたは西牧活性化センターに避難していただきました。

議員 旧小坂小体育館の避難人数は。総務課長 開設後、裏山からの出水が激しくなり、午後3時8分に避難所を閉鎖し、保健センターまたは西牧活性化センターに避難していただきました。

議員 旧小坂小体育館を避難所利用するための対策は。議員 旧小坂小体育館を避難所利用するための対策は。

町長 裏山は県が急傾斜地崩壊対策事業を実施、工事進捗状況により、使用を検討していきます。

議員 収容可能人数は。議員 収容可能人数は。総務課長 保健センター300名、下小体育館500名、下高体育館500名、馬山社会体育館200名、西牧活性化センター1100名、矢川友愛館100名、青倉社会

体育館200名です。議員 避難所で非常食等に不足は生じなかったか。総務課長 台風19号上陸前時点の備蓄は、非常食3,600食、ペットボトル飲料水7,200本、毛布260枚でした。使用は非常食1,324食、飲料水984本、毛布は260枚全てを使用しました。毛布は避難された方全員に行き渡らなかつたため、12月補正、3月補正予算で計400枚分追加購入の予算計上をしています。今後は避難指示の際には、各自毛布等持参を呼びかけます。

議員 避難所は※スフィア基準を考慮しているか。総務課長 基準では、避難所トイレは20人に1カ所以上で男女比率は1対3、1人当たり3.5mを超える居住空間などが示されていますが、当町の避難所は、既存施設を利用しており、基準を満たすことは難しいと思われませんが、トイレは、和式から洋式へ改修するなど、不便さ解消に努めます。

議員 避難所は避難される方のニーズに耳を傾け、質の向上を意識し、不便さからの解消に努力を。

議員 避難所は避難される方のニーズに耳を傾け、質の向上を意識し、不便さからの解消に努力を。



災害時食糧・発電機等備蓄品(保健センター)



防災広場建設予定の旧西中跡地

問 旧西中跡地利用は。

答 西牧防災広場建設予定。

議員 旧西中跡地活用は。議員 旧西中跡地活用は。総務課長 現在設計中ですが、消防団第4分団第1部詰所、防災倉庫や洋式トイレ、給湯室、非常用発電機を備えた防災研修所建設を予定し、災害時の避難所利用を考えています。さらに防災ヘリポート設置も計画しており、県防災航空センターと協議し、広さを2,400㎡とし、着陸部分はアスファルト舗装、周辺は芝生等で砂等が飛散しないような対策を講じます。広場の一部に芝地を設ける等、地域の方々が利用できるような場所にしたいと思っています。

議員 旧西中跡地活用は。議員 旧西中跡地活用は。総務課長 現在設計中ですが、消防団第4分団第1部詰所、防災倉庫や洋式トイレ、給湯室、非常用発電機を備えた防災研修所建設を予定し、災害時の避難所利用を考えています。さらに防災ヘリポート設置も計画しており、県防災航空センターと協議し、広さを2,400㎡とし、着陸部分はアスファルト舗装、周辺は芝生等で砂等が飛散しないような対策を講じます。広場の一部に芝地を設ける等、地域の方々が利用できるような場所にしたいと思っています。

※スフィア基準とは…すべての人道支援に共有される土台として、人道憲章、権利保護の原則などが設けられ、生命保護に必要な不可欠な要素として、(1)給水、衛生、衛生促進(2)食糧の確保と栄養、(3)シェルター、居留地、非食糧物資、(4)保健活動の各分野における最低基準が挙げられており、避難所などで参照される指標となる。

審議結果

3月定例会（6日～18日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。

（島崎紘一議長を除く11人で採決を行います。）

| 議案番号 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 審議結果 |
|----------|---|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|----------|
| | | 小井土光弘 | 大手博幸 | 佐々木信也 | 岡田邦敏 | 木暮弘元 | 岩崎正春 | 佐藤博 | 千野榮治 | 堀口博志 | 岡田武二 | 佐藤公夫 | |
| 選挙 1号 | 下仁田町選挙管理委員及び補充員選挙について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 指名 推選 |
| 1 | 下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 2 | 甘楽郡土地開発公社定款の一部を改正する定款 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 3 | 下仁田町の特別職の職員で非常勤のものとの諸給与支給条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 4 | 下仁田町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 5 | 下仁田町行政区設置条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 6 | 下仁田町交通安全指導員設置条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 7 | 下仁田町特別会計条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 8 | 下仁田町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 9 | 下仁田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 10 | 下仁田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 11 | 下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 12 | 令和元年度下仁田町立下仁田西中学校解体工事請負契約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 13 | 令和元年度下仁田町一般会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 14 | 令和元年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 15 | 令和元年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 16 | 令和元年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 17 | 令和元年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 18 | 令和元年度下仁田町水道事業会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 19 | 令和2年度下仁田町一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 20 | 令和2年度下仁田町国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 21 | 令和2年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 22 | 令和2年度下仁田町介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 23 | 令和2年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 24 | 令和2年度下仁田町水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 25 | 財産の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 26 | 下仁田町体験交流センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

| 議案番号 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 審議結果 | |
|------|---|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|
| | | 小井土光弘 | 大手博幸 | 佐々木信也 | 岡田邦敏 | 木暮弘元 | 岩崎正春 | 佐藤博 | 千野榮治 | 堀口博志 | 岡田武二 | 佐藤公夫 | | |
| 27 | 下仁田町社会体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 28 | 下仁田町町営住宅管理条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 29 | 令和元年災町道3149号(下郷)線道路災害復旧工事請負契約について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 30 | 令和元年災町道3149号(下郷)線道路災害復旧工事請負契約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 陳情 | 若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続審査 |
| 陳情 | 年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続審査 |
| 陳情 | 加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設と国に対し「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」提出を求める陳情書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 趣旨採択 |



1月28日
 埼玉県寄居町議会
 総務経済常任委員会視察
 来町
 (役場301委員会室)
 ・観光振興について



2月12日
 福島県石川町議会
 文教厚生常任委員会視察
 来町
 (役場302委員会室)
 ・ねぎとこんにやく下仁田
 奨学金について
 ・下仁田厚生病院について



2月19日
 群馬県町村議会議長会
 定期総会
 (群馬県市町村会館)

視察来町・定期総会報告

◆自治功労者表彰授与

多年にわたる地方自治の発展に尽力した功労が認められ、表彰を授与されました。

群馬県町村議会議長会表彰
 (議長4年以上)



堀口博志議員

社会経済常任委員会 視察研修報告

令和2年2月14日(金)
参加 委員6名、議長、
随員職員2名

▼**渋川市社会福祉協議会** 「ささえあい買い物事業 くあいのり」

社会福祉協議会と民間企業で、買い物難民高齢者を支える事業である。

平成30年3月開始、現在は全市展開。タクシー相乗りが特徴で、距離に応じ利用料金が発生、店舗(利用者一人あたり1000円以上の協賛金)や社協も一部負担し、比較的安く利用可。

地区毎に月2回、指定日の、平日の午後で、社協が配車調整。乗用タクシー相乗りは法で禁止だが、第三者の社協が調整配車することは問題ない。全国初の試みで、週1回の割合で視察が訪れるほど注目されている。

担当は2名、利用料集金は社協が待合所で行い、タクシー会社に一括で支払う。

現在登録者は1100人で、今年は延べ1,000人程が利用しており、1回平均3・22人。年間の延べ利用者数が2,000人まで増えた場合、事業費は約310万円、利用料金と協賛金収入が約160万円見込まれ、社協の負担金は

150万円ほどで済み、乗用タクシーを使った事業と比較すると非常に低コスト。利用者増で費用対効果が高くなるメリットがある。



渋川市社協での説明の様子

本事業による効果は、高齢者同士の交流・支え合いを始め、店舗での手押し車利用や買い物品のイメージトレーニングにより要介護予防に繋がりが、おしゃれを介しての外出が生きがいになっている人もいるとのこと。また、タクシー会社・店舗の利用増、待合所のスパー近くの店舗は、高齢者がいることで一般客増に繋がっているとのことであった。

▼**レーシングカフェ** 「デイズガレージ」

「行政との連携(現状と今後)」
デイズガレージは、1995年から18年にわ

たって「週刊ヤングマガジン」で連載された榛名山を舞台に人間の成長も描いた走り屋マンガ「頭文字D」のコンセプトカフェである。社長曰く、榛名山が走りの聖地でもあり、集える場所を作り誘客にも繋がるよう開店。グリーン牧場を借りて年に2〜3回イベントを開催、今後は規模を拡大して400台駐車可能な渋川スカイランドパークで行う計画。イベントは行政と協力して行い、後援や施設利用料優遇の他、毎回市長が出席。全国から2〜3千人が来場。マンガを核として地域の活性化に繋がっている。そのため、計画・実態把握、目標・目標達成基準等について、関わる全ての人々が共通認識を持つことが重要とのことであった。



「デイズガレージ」外観

環境衛生・病院・広域圏議会二ニュース

◆**甘楽西部環境衛生施設組合議会**

令和2年第1回定例会

(3月3日・23日開催)

- ・会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について
 - ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
 - ・令和2年度甘楽西部環境衛生施設組合予算
- いずれも全会一致で可決

◆**下仁田南牧医療事務組合議会**

令和2年第1回定例会

(3月2日・23日開催)

- ・専決処分承認を求めることについて(群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議書)
- 全会一致で可決

- ・給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ・会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

- ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例

の整備に関する条例
いずれも賛成多数で可決

令和元年度病院事業会計補正予算(第2号)

- ・令和2年度病院事業会計予算
- 全会一致で可決

反対多数で否決

令和2年第1回臨時会

(3月26日開催)

- ・令和2年度病院事業会計予算(修正)
- 賛成多数で可決

◆**富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会**

令和2年3月定例会

(2月27日開催)

- ・一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について
- ・令和元年度補正予算(第1号)

- ・特別会計条例の制定について
- ・令和2年度一般会計予算
- ・令和2年度衛生管理センター事業特別会計予算

- ・他全21議案
- いずれも全会一致で可決

町章や町の花・木・鳥を再認識しましょう

下仁田町は昭和30年（1955年）3月10日に、町村合併促進法に基づき、下仁田町、馬山村、小坂村、西牧村、青倉村の旧5町村が合併し、さらに翌年昭和31年4月1日に南牧村の一部であった青倉の下郷地区を合併し、今日の下仁田町が誕生しました。

昭和60年（1985年）10月12日に開催された下仁田町合併30周年記念式典において、町の花・木・鳥が発表されました。これは、記念行事の一環として、町民の皆様から募って決定されたものです。

▼町章



昭和47年
(1972年)
5月30日制定

下仁田町の「下」をデザイン、直線と円の組合せで、町の発展的方向と団結を意味しています。

▼町の花



▼町の木



▼町の鳥



シリーズ 町の施設①

■親子サロン

「かるがも広場」
下仁田町保健センター2階にある乳幼児専用プレイルームです。ママ、パパはもちろん、おばあちゃんも遊びに来るお子さんも多くいます。



月曜から土曜（祝日除く）の9時～17時まで利用可。夏の暑い日、冬の寒い日、雨の日にはとても便利。たくさんのおもちゃもあり、広場の利用を通じて子育て中の仲間もできそうです。子育て相談は、1階の子育て世代包括支援センターへ。
・問合先 保健課保健予防係
☎82-15490
◆新型コロナウイルス感染症予防のため、当面の間、閉館です。

編集室から

今年は暖冬からか、梅や桜の開花も早まり、例年より一足早い春の訪れでしたが…。2月より世界中を駆け巡る新型コロナウイルス感染症の流行が人々を震撼させ、東京オリンピックの延期も決まりました。完全な終息がいつになるのか、国民を心配させています。

このウイルスの流行を防ぐには、まずは日頃から一人一人が手洗いの励行、そして、行動や体調管理の自覚をしっかり持つことが大切です。

住み良い町、幸せを感じる町作りの第一は、町民の皆様が健康であつてこそ。

これからも町議会の応援をよろしくお願いたします。
佐々木信也



妙義山とくららの里

広報発行特別委員会

- 委員長 佐藤 博
- 副委員長 大手 博幸
- 委員 小井土光弘
- 佐々木信也
- 岡田 邦敏
- 堀口 博志
- 岡田 武二



次の定例会は6月です。
議会本会議及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。
日程などのお問い合わせは
☎64-8810

議会だより・会議録の他、町の情報は下記ホームページでご覧ください。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>